



小美玉  
シテイ  
ダイヤモンド  
見つける。  
みがく。  
光をあてる。

小美玉の今を伝えるマガジン



広報

おみたま

第175号

2020年  
October

10

contents

【特集】茨城県立中央高校	2-7
わだい	8-12
TOPICS	13-18
四季の歌	19
4コマ小美玉暮らし	20

Special Feature

# 茨城県立中央高校

世界を身近に感じる学校



世界を身近に感じる学校

# 茨城県立中央高校

国際化を意識した校章デザインや、詩人谷川俊太郎氏作詞の校歌にあるように、開校時から国際社会を意識してきた中央高校。茨城空港を有し、アジア圏の玄関口となっている小美玉市に所在し、世界を身近に感じる学校です。「知の中央へ」を掲げ、グローバル視点で自分や地域を考え、国際社会で活躍できる人財を育成しています。



小美玉の今を伝えるマガジン



今月の表紙



中央高校生徒会長の堀江遥菜さん。「もともと人前に出るようなタイプではなかったが、自分を変えたいと思い、一念発起。「いろんな人と話す機会が増え、知らない人とでも話せるようになりました」

校章のデザイン



知行合一の先導的実践と知・情・意の調和を図り、高邁な理想に向け前進する姿をデザイン化。国際化の中で、自立・博愛・創造の校訓のもと、自己指導力を高揚する姿をモチーフ化している。

特集記事取材・撮影  
広報おみたま取材チーム

**校歌**  
何気なく肩におかれた  
反逆の手のあたたかさ  
ひとりひそかに唄うときも  
人は人を信じて生きる  
昨日を明日へむすぶこの今日  
モノトーンに光る数字が  
星々の秘密を語る  
かどりはるかに夢見るときも  
人は人に学んで生きる  
困ったこそ時代こそよ  
ああ茨城中央高校

**自律 博愛 創造**  
茨城県立  
中央高等学校  
校訓  
中山 隆 書

## 開校時から国際化意識

昭和62年度に開校以来、海外研修に取り組む中央高校は、英語を教えるALT(外国語指導助手)のほか、県内で唯一、中国語・韓国語の授業を行っています。

平成25年度から、韓国の高校を派遣先の一つに加え、希望する生徒は韓国人非常勤講師から韓国語を学ぶほか、自分で調べて伝統文化の理解を深めます。今年1月には、ソウル市近郊の大眞(デジン)高校に16人を派遣しました。

## 中止の危機

実はこの派遣は、中止の危機に瀕していました。政治的な日韓関係の悪化により、当初予定していた韓国の高校が受け入れを辞退。深谷校長は「政治と青少年交流は別物」と考え、事業継続を模索しました。茨城県で開催された、



ALTジョージ先生による異文化理解の授業



市内唯一の  
高校



韓国好きな方!!  
語学だけでなく、現地の  
文化や学生との交流も出る  
ます。各々の学校で1ヶ月間  
ごちなん。中央ならごちなんの1ヶ月  
です(♡♡♡) ちほり

韓国語の授業があるから、  
中央高校に入りました。



高栖さんが手に持っているのは、  
韓国のICカード乗車券。  
韓国の地下鉄は、日本と比べて  
かなり安いそうです。

韓国研修の代表生徒  
高栖 蘭さん

K-POPや韓流ドラマが好きな高栖  
さん。研修先で仲良くなった大眞高校  
のソンジェさんと、今でもSNSで頻繁  
に交流。将来は、韓国語を生かした  
仕事に就きたいと考えている。



韓国ソウル市近郊の大眞高校へ16名派遣

全国高等学校総合文化祭に団長  
として来日し、交流のあった韓国  
の高校教員に相談し、大眞高校  
の受け入れが決定したとのこと  
です。

**国際感覚を養う習慣**

深谷校長は、「一部の情報に惑  
わされて、差別意識を持つことを  
防ぐためには、実際に外国を自  
分の目で見て、自分の頭で考える  
習慣をつけることが大事」と語り  
ます。

中央高校で学ぶ生徒たちは、世  
界を知り、互いを理解し合う心  
を育むことで、国際社会で活躍  
できる土台を築いていきます。